

令和6年度第1回伊勢市障害者施策推進協議会手話言語等コミュニケーション推進部会 会議要旨

開催日時	令和6年7月19日(金)19時00分～20時40分
開催場所	伊勢市役所東館4-3会議室
出席委員	倉野部会長、奥山委員、山本委員、大屋委員、大屋委員、仲西委員、矢菅委員、木戸委員 白前委員
事務局	高齢・障がい福祉課長、障がい福祉係係長、設置手話通訳者
通訳者	手話通訳者2名
傍聴者	なし

1、あいさつ

手話言語等コミュニケーション推進部会部会長よりあいさつ

2、伊勢市手話通訳者派遣事業について

【各委員の主な意見】

○通訳者の派遣率は分かるか。一定の通訳者に集中していないか。

⇒できるだけ偏らないように調整している。

○派遣件数ゼロの登録通訳者はいないか。医療関係通訳半分近くあり、同じ通訳者が継続対応と  
なることが多く、通訳者の集中については難しい課題である。

⇒派遣件数ゼロの通訳者はいない。

○キャンセル件数22件中、その他2件はどんな内容か。

⇒職業安定所の手話協力員対応となった件と、日程変更になった件。

3、伊勢市要約筆記通訳者派遣事業について

【各委員の主な意見】

○要約筆記通訳者の依頼者(難聴者)は増えているのか。

⇒令和6年度は個人依頼がない状況。

○手話は広まってきたが、要約筆記はどこへ頼んだら良いのかわからない人が多い。もっと周知すべ  
き。

○難聴者は講演会など外へ出る機会が少ないことも利用が少ない要因ではないか。

○インクルーシブ教育、普通学級へ通う難聴児も多い。周知啓発は喫緊の課題。

⇒普通学級に通う難聴児を把握する。

○高齢化進んでいる。高齢者は聞こえづらさ我慢してしまう。高齢者の集まりの場などで要約筆記を  
もっとPRしてはどうか。

⇒高齢係や他の課とも取り組めるよう検討していく。

4、伊勢市手話言語条例にかかる施策について

【各委員の主な意見】

○ビジネスパーク伊勢の取り組みにおいて要約筆記を中学校で知ってもらうことはできないか。

○障がい者サポーター講座で要約筆記のことは周知しているか。

⇒していない。今後内容に盛り込めるか検討していきたい。

○昨年度3月に手話体験講座を開催したが、「受験で参加できない」という声も聞いた。

開催日をもう少し前倒しできないか。

⇒親子でも参加しやすい日程で開催できるようにしたい。

○手話通訳者設置は1名のままなのか。

⇒拡充に向けて検討していく。

○おでかけ乗車券の周知PRをろう者にもしてほしい。

⇒伊勢市聴覚障害者福祉協会を通じて周知している。

## 5、その他

以下(1)(2)については、後日事務局と部会長にて改めて再協議のうえ確定することとした。

### (1) 手話言語の国際デー(9/23)

○手話言語啓発デーとは何か。目的を明らかにしたい。

○昨年のサッカーの試合を手話で応援をした。一般の人たちへのPRできたので良かった。9/15にFC-ISESHIMAと藤枝市役所がサンアリーナフットボールビレッジにて試合をする。昨年と同じように手話応援等をしてはどうか。

○9/21~9/23は月曜日祝日含め三連休なので市のイベントなどを活用するのはどうか。

⇒他のイベントを確認し、検討していく。

○ブルーライトアップの予定はあるか。

⇒市内には容易にライトアップできる施設等がないため難しいと考えている。

### (2) 伊勢市手話言語条例10周年

○イベントの柱、集客のため芸能人を呼ぶはどうか。例えば、吉本手話部、デフリンピックアンバサダー長濱ねる、NHK「みんなの手話」に出ている富栄ドラムなど。

○言語条例制定した時の皆さんの頑張り制定を目指したときの頑張りを知りたい。今に至る経緯や条例ビフォー・アフター(現状どうなのか本音も聞きたい)。

○手話を知らない人にアピールしたい。手話に関わる人にも伝わるものにしたい。

○市内各地で映画の上映会やトークショー。

### (3) 手話通訳・要約筆記者現任研修

○今年度手話言語法が制定される予定。また、ろう者の通訳が最近、各地で始まっている。最近の動向を学ぶとして、ろう者の通訳についての学習はどうか。

⇒他団体の研修と重ならないように検討する。

○要約筆記者の研修については、適した講師案があれば事務局へ提案する。

### (4) その他

○前回質問したビブスは怎么样了か。

⇒災害時用ビブスではなく、イベント用のビブスは保管してある。(赤、青各5枚)

○水道管故障について

○先日、市内で水道管緊急工事があったと聞いた。市内の聴覚障がい者に情報提供はしたか。

⇒伊勢市聴覚障害者福祉協会会長宛にメールにて連絡した。